

近畿中国局フォレスターNEWS



事業概要等の説明



鉄板を利用した簡易な橋

列状間伐と森林作業道の現地検討会を開催

福井森林管理署では、11月13日に列状間伐と森林作業道の現地検討会を開催しました。当日は、福井水源林整備事務所、福井県、敦賀市、若狭町、林業・木材製造業労働災害防止協会、福井県森林組合連合会、九頭竜森林組合、れいなん森林組合、在原造林、奥越林業(株)、近畿中国森林管理局資源活用課、滋賀森林管理署等から総勢41名の参加がありました。

午前には敦賀市栗野公民館で、当署から小河国有林の事業概要、列状間伐と森林作業道に関する説明を行い、午後からは小河国有林に移動して、列状間伐の実施状況、伐倒方向、集材方向、森林作業道のカーブ設定、縦断勾配、鉄板を利用した簡易な橋の施工状況等を視察し、意見交換を行いました。

参加者からは、「列状間伐の列の角度を60度としたのはどうしてか。」、「現地発生石と間伐材を利用した簡易暗渠の設置の深さは。」といった質問や「軟弱路面での枝葉の敷設は滑り止めとして有効である。」、「敷鉄板での簡易橋は施工が楽なので試してみたい。」等の意見がありました。

福井署は今後も現地検討会等を開催し、林業技術の向上に貢献していきたいと考えています。

県フォレスター等と連携した活動

広島北部森林管理署では、三次市森林整備計画策定にあたって、11月14日に広島県及び三次市とゾーニング等の確認や関係者間の合意形成に向けての打合せを実施するとともに、三次市布野に所在する民有林等(不伐の森)を視察し、将来のこの森のあり方や今後の適切な取り扱い等について現地で確認しました。

また、17日にも安芸高田市森林整備計画策定にあたって、ゾーニングや関係者間の合意形成に向けての打合せを、広島県及び安芸高田市と実施しました。

なお、今回の両市の打合せに際し国有林から、公告縦覧中であった「国有林の地域別の森林計画(江の川上流)」(案)に記載のある該当市の林業専用道の計画等について情報提供を行いました。

広島北部署は、引き続き市森林整備計画策定に向けて、広島県や該当する市と連携しながら、県、市、署の「三本の矢」の一本として微力ながら支援を行っていく予定です。

(これまでの取組は、当ニュース7・8・10月号を参照ください。)



県・三次市と民有林の視察



民有林等(不伐の森)

林野庁
近畿中国森林管理局
技術普及課



国民の森林・国有林

TEL: 06-6881-3524 FAX: 06-6881-2055

URL: <http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>

〒530-0042 大阪市北区天満橋1丁目8-75

編集後記

12月に入って急に寒くなり、各地で雪の便りが聞かれます。

寒さに伴い、風邪やインフルエンザが流行し始めたようです。健康管理に気を付けていただいて、良き新年を迎えていただければと思います。

また、毎号のことですが、国有林はもとより民有林担当者の方から情報提供いただき、各地域での取組に関する情報共有に努めたいと思いますので、どうかよろしくお祈りいたします。